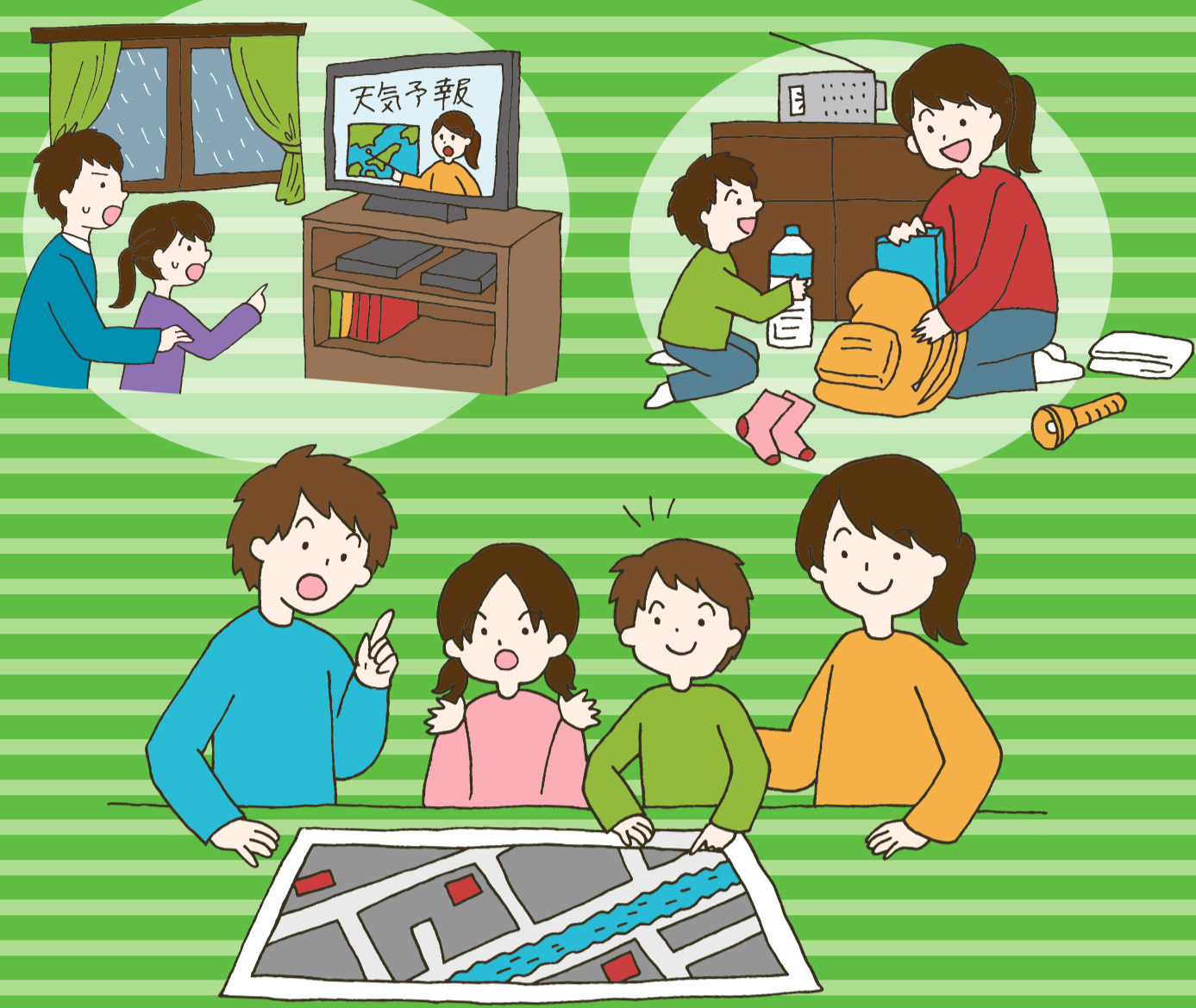


まつやま 洪水ハザードマップ

御坂川・内川・悪社川版



意識と準備が命を守る!

松山市

わが家の防災メモ

ハザードマップを使ってわが家の防災メモを完成させましょう! 地図を確認して、該当するところにチェックを記入しましょう。

自宅の災害リスク	浸水深	<input type="checkbox"/> 浸水無し	<input type="checkbox"/> 0.5m未満	<input type="checkbox"/> 0.5~3.0m	<input type="checkbox"/> 3.0~5.0m	<input type="checkbox"/> 5.0~10.0m
避難の方法	このハザードマップを参考にして、避難の方法を確認しましょう。					
避難の方法	<input type="checkbox"/> 屋内待機 <input type="checkbox"/> 垂直避難(____階に避難) <input type="checkbox"/> 立ち退き避難					
避難場所	自宅から避難場所までの経路や時間を実際に歩いて確認しましょう。					
避難場所				自宅から避難場所までの時間		
【メモ】避難時の持ち出し品などについて、記入しておきましょう。						

避難の方法	このハザードマップを参考にして、避難の方法を確認しましょう。					
避難の方法	<input type="checkbox"/> 屋内待機 <input type="checkbox"/> 垂直避難(____階に避難) <input type="checkbox"/> 立ち退き避難					
避難場所	自宅から避難場所までの経路や時間を実際に歩いて確認しましょう。					
避難場所				自宅から避難場所までの時間		
【メモ】避難時の持ち出し品などについて、記入しておきましょう。						

非常時持ち出し品チェックリスト	下記はあくまでも一例です。各家庭の事情に合わせたものを用意しましょう。					
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード・預金通帳(コピー可)					
水・食料	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 携行食・非常食(ビスケット・缶詰など)					
医療・衛生用品	<input type="checkbox"/> 服用している薬 <input type="checkbox"/> 救急医療品 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ <input type="checkbox"/> 口腔ケア用品 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 消毒液					
避難用品	<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> スリッパ <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ホイッスル					
道具類	<input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 時計 <input type="checkbox"/> ロープ					
衣類	<input type="checkbox"/> 上着(防寒着)・下着・靴下 <input type="checkbox"/> 雨具(レインコート)					
生活用品	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ・ティッシュ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ゴミ袋・ポリ袋 <input type="checkbox"/> レジャーシート					

家族の名前	連絡先	松山市内の市外局番は「1089」です。
緊急連絡先	電話番号	
病院		
ガス会社		
電気会社		
水道		

まつやま 洪水ハザードマップ

御坂川・内川・悪社川版 松山市 防災危機管理部 危機管理課
〒790-8571 松野町松山土庫町四丁目2-2 TEL.089-948-6793 FAX.089-934-1813
<https://www.city.matsuyama.ehime.jp>

浸水の深さを確認

5.0~10.0m の浸水	<ul style="list-style-type: none">●2階の屋根以上が浸水●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊・流出する危険がある
3.0~5.0m の浸水	<ul style="list-style-type: none">●2階の屋根まで浸水●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊・流出する危険がある
0.5~3.0m の浸水	<ul style="list-style-type: none">●2階の床下まで浸水●1階部分が浸水●強い水流の中を歩くことは危険
0.5m 未満の浸水	<ul style="list-style-type: none">●床下浸水 ●大人のひざ下程度●浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険

Web版防災マップで災害リスクを確認しましょう

このハザードマップの浸水想定区域外でも、その他の河川の水管や土砂災害、高潮のリスクがある場合があります。Web版防災マップでは、災害の危険性をより詳しく確認できます。

- 1 松山市防災ポータルにアクセス(松山防災ポータル)
- 2 松山市Web版防災マップをクリック
- 3 各河川の浸水リスクを確認する場合は、このメニューの選択から各河川ごとの浸水想定区域を確認
- 4 各項目をクリックで詳細情報が選択できます

選択したハザードマップの凡例が表示されます

いざというときの避難行動を確認

自宅が浸水する区域内にある。はい

自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)内にある。はい

立ち退き避難

洪水が発生した場合、自宅にとどまることは危険です。近隣の安全な場所や頑丈な建物へ移動しましょう。

いいえ

自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫域)内にある。はい

いいえ

浸水の深さが建物の最上階の床の高さを上回る。はい

いいえ

浸水が長時間(3日以上)継続する区域内にある。はい

いいえ

垂直避難

自宅の上階に移動しましょう。

非常時に備え、水・食料は1週間程度の備蓄をしておきましょう。

断水や下水道の損傷などで、トイレが使えなくなる場合があるので、準備が必要です。洋式便器に被せる袋と凝固剤がセットになったものが便利です。1人1日5回分の備蓄の目安です。

洪水から身を守る

洪水発生メカニズム

洪水は大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を越えるなどして起こります。

大雨によって川の水位が増え、水かさが増える。堤防に水圧がかかり、水かさが増え、堤防の一部が崩壊する。

都市型水害について知る

大規模な洪水以外にも、都市部は舗装された道路や宅地が多く、降った雨は地中に浸透しにくいので、川や水路、下水道に一気に集まります。そのため、次のような危険がありますので注意しましょう。

- 低地の冠水
- 地下への冠水
- 中小河川の増水氾濫
- 過去の浸水

雨の強さと降り方、災害発生の目安

1時間雨量(mm)	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴローと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある
人への影響	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	傘をさしていても濡れる	傘をさしていても濡れる	傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水がはたまたら一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		
車の運転	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生まれ、ブレーキがきかなくなる	車の運転は危険		
災害発生状況	この程度でも、長く降り続けるとは注意が必要。傾斜や下水道、小さな川が溢れ、小規模のげげ崩れが始まる。	山崩れ・げげ崩れが起きやすくなり、土砂災害警戒区域等では避難の準備が必要。都市部では下水道から雨水があふれる。	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールからの水が溢れ出す。土砂災害が起きやすくなり、多くの災害が発生する。		

防災気象情報の種類と内容を知る

災害発生危険性を5段階でお知らせします

災害発生のおそれが高まった場合、市や気象庁などから様々な情報が発表されます。これらの情報に注意し、段階に合わせた適切な行動をとります。

警戒レベル	市民の皆さんがとるべき行動	避難情報等	警戒レベル相当情報	
警戒レベル5	命の危険 直ちに安全確保	災害が発生・切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとります。(松山市が発令)	緊急安全確保 (松山市が発令)	氾濫発生情報 大雨特別警報 など
警戒レベル4	速やかに避難行動をとります。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近隣の安全な場所へ避難してください。	避難指示 (松山市が発令)	警戒レベル相当情報	土砂災害警戒情報 など
警戒レベル3	高齢者の方、障がいのある方、乳幼児など、避難行動が困難な方への避難行動をとりましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (松山市が発令)	警戒レベル相当情報	氾濫警戒情報 大雨警報 など
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報 など (気象庁が発令)	警戒レベル相当情報	
警戒レベル1	災害への心構えを高めます。	早期注意情報 (気象庁が発令)	警戒レベル相当情報	

気象庁からの注意報・警報

- 大雨・洪水注意報
- 大雨・洪水警報
- 大雨特別警報

台風や集中豪雨により数日間にわたっての大雨となるおそれがあります。大雨が予想される場合に発表されます。すでに災害が発生している可能性が高く、大雨特別警報発表までに避難することが重要です。

川の水位情報

マイ・タイムラインをしましょう

マイ・タイムラインとは、大雨や台風などのときに、自分と自分とる標準的な防災行動を時系列的に整理するものです。地域の災害リスクを知り、災害が起きたときの避難先やとるべき行動を事前に確認しましょう。

状況に応じた避難行動をとる

いつ避難するかを決める!

- 屋内待機
- 垂直避難
- 立ち退き避難

避難場所は、小中学校・公民館だけではなく、安全な親戚・知人宅に避難することも考えましょう。

大雨・洪水時の避難のポイント

- ひざ上まで水につかると歩かなくなります
- ロープにつなぐ
- 足元に注意
- 足元に注意
- 子どもやお年寄り安全に
- 危険なところは避ける

避難するときの服装

- ヘルメットや防災ずきんをかぶる。
- 足元も長靴、長スポンを着用する。
- 水は水が入ると動きづらくなるので避ける。水中でも履けにくい歩きやすい靴が良い。
- 手袋、手拭きタオルを携帯する。
- 非常時持ち出し品はリュックに入れて背負う。

避難情報などの伝達、入手方法

松山市では、様々な方法で避難情報などを発信しています。様々な情報の入手方法を知ってれば、いざというときに役に立ちます。日ごろから確認して、自らの命は自らが守ります。

- 1 防災行政無線
- 2 広報車
- 3 テレビ・ラジオ
- 4 メール配信
- 5 スマホアプリ
- 6 SNS・ホームページ

大雨警報(浸水害)の危険度分布

危険度分布の色が持つ意味と行動などの例

危険度	注意	警戒	危険	災害切迫
高	今後の行動で避難の状況、雨の降り方などに注意。(警戒レベル2相当)	安全確保行動をとる準備をし、早い段階で避難し始める。(警戒レベル3相当)	河川水位などの状況を確認し、速やかに立ち退き避難の準備を整える。(警戒レベル4相当)	重大な災害が発生している可能性があります。速やかに避難し始める。(警戒レベル5相当)